

2. 指標設定

成果指標	指標名	道路及び橋梁災害の復旧		目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—				台風等により被災した道路及び橋梁の早期復旧のため			
活動指標	指標	a	復旧率	b		c		d	
	数値	目標	100%	目標		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
道路及び橋梁災害の復旧		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a	復旧率	100.0 %	100.0 %	100.0 %
		100.0 %	100.0 %	100.0 %
b				
c				
d				

4. 課題と対応

課題
特になし
対応（改善点等）

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

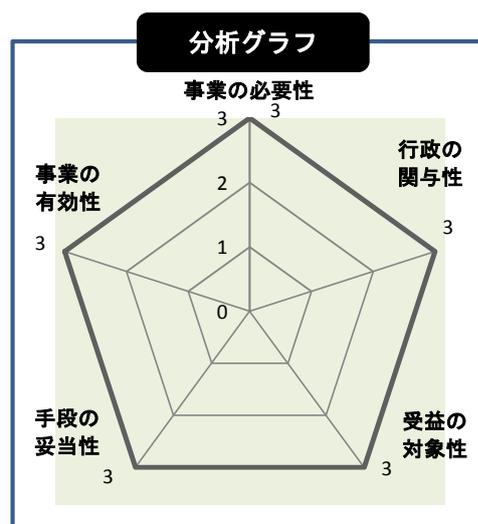
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		32,058	40,114	39,047	64,258
うち経常経費		945	1,140	1,405	1,063
財源内訳	国費	9,756	20,089	22,292	33,350
	県費				
	市債	3,200	9,500	9,800	16,600
	その他				
	一般財源	19,102	10,525	6,955	14,308
うち経常		945	1,140	1,405	1,063
事業費に係る人件費		13,584	12,800	13,314	13,072

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
気象状況により災害発生の予測が不可能である

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市道の災害復旧である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市道の災害復旧である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市民が利用する市道の復旧である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 成果が上がっている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	災害復旧であるので早期対応を行うこと